

ともに生きる 共生



ETV特集

静かで、にぎやかな世界 ～手話で生きる子どもたち～

放送日:2018年5月26日 放送時間:59分

対象校種 小学校4年生以上 中学校 高校

対象教科 特活 道徳 総合

この番組の良さ

● 手話を使って表現する子どもたち

明晴学園は、私立ろう学校です。耳が聞こえる世界に適應するよりも、ろう者独自の「ことば」を身につけ、対話し自分の考えを深めることを大切にしています。番組では、子どもたちが主体的に学び、仲間と対話しながら心も大きく成長していく姿を見ることができます。子どもたちは、手話を使って積極的に対話し、どの子どもたちも明るい表情をしています。子どもたちが、ろう者のアイデンティティーをもって成長し、困難に立ち向かう勇氣をもっている姿に感銘を受けます。番組視聴を通して、「耳が聞こえないことはかわいそう」という先入観は無くなります。ろう者について正しく理解し、どのように接していくとよいかを、考えるきっかけになる番組です。

● 誰でも平等に学ぶ権利がある

明晴学園を卒業後、普通高校や大学へ進学し、聴者の環境で学ぶ子もいます。しかし、音声言語中心の授業では、情報量が少なく、苦勞する現実があります。「誰にでも平等に学ぶ権利がある」社会のためには、教育現場ではどのような環境や支援が必要なのかについて考えることができます。

番組活用のポイント

● ろう者について正しく理解する

この世界は、誰もが同じ条件で生活しているわけではありません。例えば、耳が聞こえる聴者の世界や、耳が聞こえないろう者の世界があります。聴者の世界で生きる人にとって、耳が聞こえないことを「かわいそう。」と思う人がいます。しかし、ろう者は、本当にかわいそうなのでしょうか。聴者の人と同じように学んだり、喜怒哀楽を感じたり、表現することができないのでしょうか。本番組を視聴することで、その先入観や偏見は無くなります。明晴学園の子どもたちが、手話を使っての自己表現をする姿やにぎやかに遊ぶ姿、困難に出会った時でも解決へ向けて考える姿を見て、ろう者の世界を理解することができます。番組視聴をきっかけにして、様々な障害をもつ人達への関心を高め、さらに探求したり、深く学んだりする学習につなげることができます。

● 誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向けて考える

従来のろう学校では、聴者の社会に適應するために音声中心の教育(聴覚口話法)を行っていました。耳が聞こえない子どもにとって、日本語を発音することはとても難しいことです。訓練を重ねても、上手に話すことができない人もいます。この世の中は、日本語が話せないと、幸せに暮らすことができないのでしょうか。また、何か障害をもっていると、暮らしにくい社会なのでしょうか。そのような社会になってはいけません。本番組は、誰もが幸せに暮らせる社会のために何が必要なのかについて考える学習で活用することができます。

● インクルーシブ教育の資料として

日本には、たくさんの学校があります。学校種に関係なく全ての教員は、子どもたちが、どのように学んでいるかについて、研修する必要があります。本番組は、特別支援教育の研修資料として活用することができます。特に、子どもたちが、手話を使って生き生きと学び、強く生きていく姿や、高校受験に悩む中学校3年生の姿を視聴することで、自分の教育方法や子どもへの向き合い方を考えるきっかけになるでしょう。



執筆者
江別市立大麻泉小学校
教諭 前多香織

学習展開例

対象校種 小学校4年生以上 中学校 高校
対象教科 特活 道徳 総合

どのように障がいをもっている人と関わっていくか

[授業時間 45分] 部分視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>目が見えない 手足指が動かない 耳が聞こえない 話せない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体が不自由な人を知っているか聞く。(何が不自由なのかを聞く。)
<p>体が不自由な人は、不便だ。かわいそうだ。 ・不自由でない人のように生活できないから。 ・自分の思い通りに何でもできないから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体が不自由な人のことをどう思うか、その理由も聞く。
<p>体が不自由な人は、自分をかわいそうだと思っているのかな？ 聞かないとわからない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体が不自由な人は、自分のことをかわいそうと感じていると思うか聞く。
<p> 番組部分視聴① ろう者(ひろ)からのメッセージ (1分40秒:はじめ～1分40秒)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ろう者は、自分のことをかわいそうだと感じているのかを意識しながら部分視聴する。
<p>ろう者は、かわいそうだと思っていない ・子どもたちが楽しそう。・手話で話している。・学校に行って勉強している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 番組視聴して気がついたことや思ったことを聞く。
<p>なぜ、耳が不自由な子どもたちは楽しそうなのだろう。 学校で何をしているのだろう。知りたい。</p>	
<p>耳が不自由な子どもたちは、どんな学校で何をしているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 耳が不自由な子どもたちが学校で何をしているのか、自分の学校との違いは何か、どう感じたかを意識しながら部分視聴する。
<p> 番組部分視聴② 明晴学園の学校生活 (11分04秒:1分45秒～12分49秒)</p>	
<p>耳が不自由な子どもたちの学校生活</p> <ul style="list-style-type: none"> バスで通っている。(自宅から遠いのかも) ・先生も子ども言葉は話さず、手話で会話している。 にぎやかで明るい。みんな笑顔。 ・新学期に担任発表があり、どきどきしていた。 手話と体全体、表情で伝え合っている。 ・手話科がある。 英語も手話で授業をしている。 ・幼稚園の時から手話で伝え合っている。 私たちと同じ内容を勉強している。(手話で授業している) 	<ul style="list-style-type: none"> 耳が不自由な子どもたちは、学校で何をしてきたか、自分の学校と比べて違いはあったかについて、ペアで交流してから、全体で交流する。
<p>もし、耳が不自由な同級生がいたら</p> <ul style="list-style-type: none"> 手話を覚えて話したい。 ・かわいそうだと思わず、仲良くしたい。 文字を通して会話できそう。 ・身振りで気持ちを伝えられるかも。 一緒に遊んでみたい。 ・もし、困っていたら手伝う。 	<ul style="list-style-type: none"> もし、耳が不自由な同級生がいたら、自分はどのように関わりたいかを考え、学級全体で交流する。
<p>耳が不自由な子どもたちは、手話を使って楽しそうに会話したり、勉強したりしていた。耳が不自由な人をかわいそうと思わず、手話や文字、表情でお互いの気持ちを伝え合えば、楽しく生活できると思う。</p>	<p>【学び向かう力 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいをもつ人達が明るく楽しく生活している様子から、障がいをもつ人に対する見方や考え方を広げ、自分は障がいをもつ人たちと、どのように関わっていくかを考えることができたか。